

【ガス栓】

未使用のガス栓を開いて火災

事例

ガスコンロを使用中、コンロとその周辺を焼く火災が発生した。(70歳代 女性 2012年5月 兵庫県)



原因

使っていない側のガス栓を誤って開いたため、保護キャップに生じていたひび割れ部分からガスが漏れたものです。



- ・ガス機器が接続されていないガス栓を開かないよう注意してください。
- ・使用していない側には誤開放を防止する「ガス栓カバー」を取り付けましょう。
- ・購入時についている保護キャップはガス漏れ防止用ではありません。

【暖房便座】

使用中に低温やけど

事例

暖房便座に30分ほど座っていたら、低温やけどを負った。(60歳代 女性 2011年1月 広島県)



原因

便座の上に長時間座っていたためです。温度は「低温」より少し高く設定されていました。



- ・高齢者や体の不自由な人、介護が必要な人などが使用するときには、取扱説明書とおりに「低」や「切」に調節して、低温やけどに注意してください。
- ・糖尿病などでは、熱さを感じにくくなることがあるため、特に気をつけてください。

シニア世代に多い身の回りの事故防止ガイド

～製品編～

気を付けて！ちょっとした不注意にご用心！



富山県消費生活センター

Tel.076-432-2949

(nite(製品評価技術基盤機構)「高齢者に多いこんな事故」より)

【踏み台】

バランスを崩して落下

事例

踏み台の天板上に乗って自動車の屋根を拭いていたところ、右側に転倒し、負傷を負った。(80歳代 男性 2012年10月 千葉県)



原因

バランスを崩して転倒したものです。



- ・天板に立つときは、バランスをくずさないよう注意してください。身を乗り出して作業するのも危険です。
- ・踏み台は水平なところに設置してください。

【電動車いす】

運転を誤って死亡

事例

ハンドル形電動車いすで走行中、斜面に転落して死亡した。(60歳代 男性 2011年6月 島根県)



原因

未舗装の砂利道で運転操作を誤ったものです。



- ・電動車いすの操作ミスによる事故が多く発生しています。特に使い始めは、十分に練習を行ってから運転してください。
- ・坂道や路肩、濡れた路面などには注意してください。
- ・走行時には、バッテリーの残量を確認し、遠出の際は100%充電状態にしてください。

【介護ベッド用手すり】

すき間に挟まれて死亡

事例

介護ベッドと手すりのすき間に首を挟まれて死亡した。(90歳以上 女性 2013年3月 大阪府)



原因

ベッドの頭側ついた部分と手すりのすき間に首が挟まったものです。安全対策として使用するすき間をふさぐための部品を装着していませんでした。



- ・頭や首、手足などがサイドレールや手すりのすき間に挟まれないよう、すき間をふさぐ部品を装着してください。
- ・現在販売されている手すりは、改正されたJIS規格によって安全性が強化されています。取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。

【ガスコンロ】火に近づき過ぎて衣服に着火

事例

ガスコンロ周辺を焼く火災が発生し、1人が死亡した。(80歳代 女性 2011年1月 千葉県)



肉眼で見える炎(左)に比べ、赤外線カメラで見た実際の炎(右)は鍋底から大きくはみ出しています。

原因

調理中、衣服に火が燃え移ったため、火災に至ったものです。



- ・コンロに近づき過ぎないでください。コンロの奥に手を伸ばすときは、火を消して下さい。
- ・毛足の長いものやゆったりと垂れ下がったデザインの衣服は特に注意してください。

【ガスコンロ】火を消し忘れて火災

事例

ガスコンロ周辺を焼く火災が発生した。(70歳代 女性 2013年6月 三重県)

原因

天ぷらを調理した後、火を消し忘れたためです。



- ・火をつけたら絶対にその場を離れないでください。調理後は必ず火が消えているか確認してください。
- ・調理油過熱防止装置などの保護装置のついた製品に買い替えるのも事故防止策のひとつです。

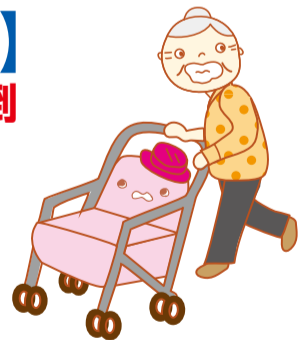


【歩行補助車】

曲がろうとして転倒

事例

家の人に腰を支えてもらいながら歩行補助車を押し、左に曲がろうとしたら転倒して重傷を負った。(80歳代 女性 2011年10月 京都府)



原因

歩行の際に介助者が必要で、歩行補助車の使用は無理な状況でした。表示にも「手すりなどつまり歩きをする人には適していない」という旨の記載がありました。



- ・歩行補助車は、主に自立歩行が可能な人を対象としています。無理に使用すると転倒して骨折するおそれがあります。
- ・使用中に本体が折り畳まれないように、ロックレバーで必ず固定してください。

台所では…

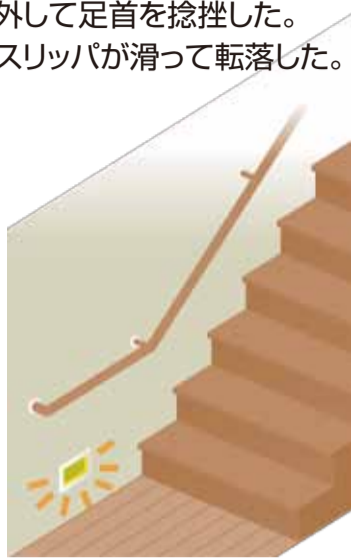
- 電気ポットからお湯を出すときに誤って手にかけてしまい、やけどをした。
- 包丁を足元に落とし、つま先に刺さった。
- コンロの火を消したつもりが消えておらず、鍋が焦げた。



台所は火気や刃物を取り扱い、事故が起きやすい場所です。自分では大丈夫と思っても熱いものや鋭利なものを扱うときは、細心の注意を払い、落ち着いて操作しましょう。

階段では…

- 階段が暗くて足元がよく見えず、最後の一段を踏み外して足首を捻挫した。
- 階段でスリッパが滑って転落した。



手すりと足元灯を設置しましょう

階段は、十分な明るさを確保し、手すりにつかまって一段ずつ足の位置を確認しながら上り下りしましょう。足元灯があると段差が見えやすくなります。

シニア世代に多い 身の回りの事故防止ガイド

～生活編～

気を付けて！ちょっとした不注意にご用心！



(東京都「シニア世代の身の回りの事故防止ガイド (ヒヤリ・ハットレポート No.5)」より)

浴室では…

- 椅子に座ろうとしたら、洗い場に残っていた石鹸の泡で椅子が横滑りして、尻もちをついた。
- マットにシャンプーが付着していて、滑って転倒した。
- 浴槽の縁に手をつけて立ち上がろうとしたら、手が滑って転倒した。



浴室では、滑りによる転倒事故が多く起きています。手すりを設置し、転倒事故を防ぎましょう。浴室用の椅子は底に滑り止めのついたものを使用し、床に残った石鹸やシャンプーなどの泡はしっかりと流しましょう。

居間では…

- 踏み台に乗って物を取ろうとしたら、バランスを崩して転落した。
- 自分が履いているスリッパのかかとをもう一方の足で踏んでしまい、転倒した。
- 掃除機のコードにつまずいて転倒した。



高齢になると足腰やバランス感覚が衰えてきます。足元には十分気を配り、踏み台を使わないと取れないような高い場所には物を置かないようにしましょう。

屋外では…

- 杖先ゴムがすり減っており、雨上がりに出かけたときに歩道に杖をついたら、杖の先が滑って転倒した。
- 雨の日に横断歩道を渡ろうとしたら、靴が滑って転倒した。



屋外では、濡れているところや凹凸のあるところは転倒する危険性が高いため、十分注意が必要です。靴は、足に合った滑りにくいものを選びましょう。杖を使用する場合は、杖先ゴムが磨耗していると滑りやすくなるので、すり減っていたら交換が必要です。

ベランダや庭では…

- 園芸用殺虫剤のノズルがよく見えず、自分に向かって噴射してしまい、目に入った。
- ベランダに置いていた植木鉢につまずいて転倒した。



園芸用殺虫剤を使用するときは、ゴーグルやマスク、手袋などを着用しましょう。ベランダや庭の植木鉢などは整理整頓し、つまづかないように気を付けましょう。

長く使った製品も…

- 延長コードに傷がつき、電線がむき出しになってショートしてしまい、火花が出てじゅうたんが焦げた。
- たんすが歪んで引き出しが動きにくくなっており、力いっぱい引き出しを戻したら、指を挟んだ。



- ◎製品の異常に気付いたときは、一旦使用を中止して取扱説明書を確認し、販売店やメーカーなどに相談しましょう。
- ◎製品の異常に早く気付くためには、正常な状態を知っておくことが重要です。日頃から点検を行い、正常な状態を覚えておきましょう。

寝室では…

- 電気あんかの上に足を乗せたまま就寝し、低温やけどをした。
- 夜中にトイレに行くとき、布団につまずいて座卓の角に腰をぶつけた。



就寝時には、電気あんかの電源を切りましょう。布団につまずく事例の中には、周囲にある家具などに衝突してケガをしたケースがありました。家具の配置の工夫が必要です。

消費生活に関するご相談は

☎ (076)432-9233 (消費生活相談)

☎ (076)433-3252 (金融相談)

高岡支所

☎ (0766)25-2777 (消費生活・金融相談)